

# 国立大学法人兵庫教育大学の平成24年度に係る業務の実績に関する評価結果

## 1 全体評価

兵庫教育大学は、教員の資質能力の向上に対する社会的要請に応えるため、学校教育を中心とした理論的、実践的な教育・研究を進めるとともに、教育諸課題に対応する教員の力量形成を支援し、我が国の教育の発展に寄与することを基本理念としている。第2期中期目標期間においては、実践的指導力を持った教員の養成と、資質・力量を備えた専門職業人たる優れた現職教員の育成とともに、教育実践学の高度な研究・指導能力を持った人材の輩出等を目標としている。

この目標達成に向けて学長のリーダーシップの下、兵庫県内の国公立大学や教育委員会と連携し、現代の教員に求められている高度な実践的指導力を養成する教員養成高度化システムの兵庫モデルを構築する取組を行うなど「法人の基本的な目標」に沿って計画的に取り組んでいることが認められる。

### (戦略的・意欲的な計画の状況)

第2期中期目標期間において、これからの時代に求められる教員としての資質能力の向上を図るため、大学院カリキュラムの検証・充実や教育内容の改善を行い、教師教育スタンダードを構築することを目指した戦略的・意欲的な計画を定めて積極的に取り組んでおり、平成24年度においては、大学院における教師教育スタンダード策定方針の決定や学部と大学院修士課程・専門職学位課程との接続（4プラスアルファ）による一体的なモデルカリキュラムの枠組みの構築を行っているほか、その成果と今後の取組について、シンポジウム「教員養成の高度化に向けた課題と展望」を開催して公表している。

## 2 項目別評価

### I. 業務運営・財務内容等の状況

#### (1) 業務運営の改善及び効率化に関する目標

〔①組織運営の改善、②事務等の効率化・合理化〕

平成24年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 教育行政職幹部職員に必要な能力を明らかにして、能力育成モデルカリキュラムの開発、関係機関等への提供に取り組んでおり、この取組を進めるにあたり、山口県教育委員会との人事交流により、1名を教授として採用している。
- 学生のキャリア形成を支援するための組織として、就職支援部門、キャリアデザイン支援部門、調査研究部門の3つの部門を柱とした「教職キャリア開発センター」を設置し、就職支援部門については、従来の就職支援室、教職大学院研究・連携推進センター等で別々に実施していた就職支援の強化・一元化を図り、教職現場に必要な実践力を身につけるためのキャリア教育を実施している。

**【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

(理由) 年度計画の記載 14 事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

**(2) 財務内容の改善に関する目標**

- ( ①外部研究資金、寄附金その他の自己収入の増加、②経費の抑制、  
③資産の運用管理の改善 )

平成 24 年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 中期計画に「外部研究資金の申請件数の 2 割増を目指す。」ことを掲げており、啓発活動、科学研究費助成事業や民間助成団体助成金の説明会、助成金公募情報の提供等を行うとともに、外部研究資金申請希望者に対する申請書等の作成支援や複数件数申請を行った教員への研究費の追加配分等のインセンティブ方策を実施した結果、申請件数は目標件数の 146 件（平成 21 年度申請件数 121 件）に対し、191 件（科学研究費助成事業 126 件、民間等助成 65 件）となり、これまでの最高件数となったほか、平成 24 年度の科学研究費助成事業の獲得額は、法人化以降最高額の 9,365 万円となっている。

**【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

(理由) 年度計画の記載 5 事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められ、上記の状況等を総合的に勘案したことによる。

**(3) 自己点検・評価及び当該状況に係る情報の提供に関する目標**

- ( ①評価の充実、②情報公開や情報発信等の推進 )

**【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

(理由) 年度計画の記載 5 事項すべてが「年度計画を十分に実施している」と認められることによる。

#### **（４）その他業務運営に関する重要目標**

（①施設設備の整備・活用等、②安全管理、③法令遵守）

#### **【評定】 中期計画の達成に向けて順調に進んでいる**

（理由） 年度計画の記載６事項すべてが「年度計画を上回って実施している」又は「年度計画を十分に実施している」と認められることによる。

## **Ⅱ．教育研究等の質の向上の状況**

平成 24 年度の実績のうち、下記の事項が**注目**される。

- 大学院に教職課程を持つ兵庫県内の国公立大学と教育委員会による、教員養成高度化システムの兵庫モデル構築・発信事業において、実施体制や連携大学間の授業科目相互提供のための遠隔講義システム、「e ポートフォリオ」等の教育環境の整備を行っている。
- 学校教育学部の入学生試験では、教員になろうとする強い意志を確認するため、全志願者に対し、「教員志望理由書」の提出を求めているほか、推薦入試では、基礎学力を重視するため、センター試験成績のグループ分け成績区分を見直すとともに調査書の評価基準を新たに作成している。
- 大学と教育委員会との連携を重視し、「大学における教員養成」と並び重要な「教員採用」、「教育研修」等の責任を担う教育長の資質能力を育成するため、全国市区町村教育長セミナーを実施し、各地から 33 人の教育長が参加している。
- 三重県、新潟市両教育委員会との連携により、「小・中学校事務職員研修モデルカリキュラム開発」を行い、北海道、新潟市、三重県、高知県、沖縄県、の各教育委員会の協力を得て、計 7 回の小・中学校事務職員研修を実施している。
- 教員養成スタンダード開発の研究成果を「教員養成スタンダードに基づく教員の質保証—学生の自己成長を促す全学的学習支援体制の構築—」として取りまとめ、兵庫教育大学教育実践学叢書の創刊号として発行している。
- 教職大学院研究・連携推進センターの研究開発部門において、教育課程・授業評価システムについて、授業評価結果を単年度表示から 3 年間の経年度表示に変更し、授業の改善の進捗状況等を把握・検証をし易くする等の改善を行うとともに、学生を対象に「評価結果説明会」を実施している。
- 韓国の大邱教育大学校及び京仁教育大学校、台湾の屏東教育大学との間で、大学院におけるダブルディグリーに関する協定を締結している。  
（教員就職状況）
- 平成 24 年 3 月卒業者（教員養成課程）の教員就職状況は卒業者 165 名に対し、正規採用が 79 名、臨時的任用が 51 名で、平成 24 年教員就職率は 78.8 %、進学者等を除くと 92.2 %となっている。